

学 年	6学年	教科・領域	学級活動	副読本P	P50・51
第5章3			取り組もう！ボランティア活動		

仙台市立東四郎丸小学校 6学年

「もしもの時、私たちにできることは」

○ ねらい

ボランティア活動に取り組む人々の存在を知り、災害発生時に地域や家庭で自分にできることを考え、実践しようとする姿勢を持つことで「共助」の精神を身に付ける。

学習活動及び発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
<p>1 「共助」について知る。</p> <p>みなさんは、「共助」という言葉を知っていますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共に助ける…どういうことだろう？ ・ 地震の時に、みんなで助かろうってことじゃないかな。 ・ そうだね、みんなのために自分の力を発揮することだよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 「共助」の意味をしっかりとおさえさせる。 ◇ 「自助」と「公助」についてもおさえさせ、「共助」と比較させる。
<p>2 学習課題を知る。</p> <p>【学習課題】大きな地震が起きた時、家族や地域のために自分にできることを考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分にできることか…。まずは、自分の命を守ること。 ・ 家族のためか…。何ができるかなあ。 ・ 地域のためって何だろう？自分に何ができるだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ まずは、自分の命を自分で守ることを最前提とすることを確認する。 ◇ その上で、「家族のため」や「地域のため」を強調し、自分以外の人のために、自分に何ができるかを考えることを明確にする。
<p>3 映像を見る。</p> <p>東日本大震災の時に、みんなと同じ年代の子供たちがどんな行動をとったか、映像を見せます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 映像を見る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 実際の映像資料を参考にすることで、自分達にもできることがたくさんあることに気付かせる。 ◇ 副読本P50～51を見ながら、ボランティア活動への取組が、「共助」につながることを説明する。
<p>4 考えを発表する。</p> <p>東日本大震災の時に、みんなと同じ年代の子供たちがどんな行動をとったか、映像を見せます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家の倒れた家具などを元どおりにするのを手伝う。 ・ 避難所の炊出しや配給を手伝う。 ・ 水を運ぶのを手助けする。 ・ 避難所のトイレの掃除などを手伝う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 家庭や地域（特に避難所）のために、自分にできそうなことを、たくさん出させる。 ◇ 自分にも、家族や地域のためにできることが、たくさんあることに気付かせることで、自己有用感を持たせる。
<p>4 本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートに、今日の授業の振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 自分の考えや、新たな発見や疑問などを書くよう指示する。